

大阪教育大付属池田高校「6名合格」

私立入試と公立推薦入試が終了しました。大教大附属池田高校は過去最高の6名が見事合格の栄冠を勝ち取りました。6名の内3名の生徒は小学校の時から特進館で学びました。難関校合格に向けては長期的な視野に立ち、勉強だけでなく中学校でも部活動をはじめとする様々なイベントにも積極的に参加し、充実した中学校生活を送っていました。そういう意味からも普通の生徒たちが勝ち取った合格であったと考えています。また合格が決まってからも塾を欠席することなくふだん通り勉強しています。そして、次なる目標「大学受験」に向けてすでにスタートを切りました。

このあと、2月20日(水)に公立推薦の合格発表、3月12日(火)公立一般入試日、19日(火)合格発表と受験は続きます。12日に向けて今は全力集中ですが、合格後の学習計画を考え始め時期でもあるでしょう〔野垣勝彦〕

2月・3月のおもなスケジュール		
2/23	土	中3入試突破ゼミ[月3回] 3学期授業終了
24	日	自習室開室(12:00~18:00)
25~		公立直前ゼミ スタート
3/4	月	2019年度新年度開講
9	土	新高3保護者会
10	日	やる気UPコンサート
12	火	公立一般入試日
15	金	新高1激励会
16	土	新高1保護者会(13:00~14:30) 英検対策説明会(15:00~16:30)
17	日	愛すスケート
19	火	公立一般合格発表日 春分の日[授業あり]
21	木	新高2保護者会
23	土	3月度授業終了
25~		春期講習 スタート
31	日	自習室開室(12:00~18:00)

情報の温室

SNSでは簡単に「ブロック」することができます。つまり、自分とは異なる価値観の主張を視界の外に追いやり、同じ価値観の主張だけが目に入る、そんな「情報の温室」を簡単に作り出せるのです。

こんな温室で育った人の感覚はどうなっていくのでしょうか。まるで、世界中が自分と同じ意見を持っているかのように錯覚していくのです。その結果、何かの機会に自分とは異なる意見を目にしたとき、「これは間違っている」と思ってしまいます。「自分と違う意見」ではなく「間違っている」と考えるのです。温室の中で自分の意見は常に肯定されてきましたから、「正しさの基準」ができあがってしまっているのです。〔金子祐太〕

兵庫県立 高校入試解答速報
特進館学院が
TVで解答を詳しく解説
3月12日より7時~生放送 

北摂三田高校
校内模試**トップ3**※
**特進館学院生が
独占しました!!**
※2018年11月
高1全統模試の
結果です。

1月の「自習王」決定!
★中学生の部
中3 別府 達也 189 時間
★高校生の部
高3 高垣 光希 160 時間

新たなスタートへ

学校では4月からが新年度ですが、塾は3月から新しい学年として授業がスタートします。新たな学校生活がスタートする前に、今の学年で成長したと思う点や、反省すべき点を振り返ることが大切です。また来年度をどう過ごすか、どんなことを頑張りたいかなど、自身で考える時間を作ってみると、新しい発見があるかもしれません。〔厚地香里〕

3月分 2月 27日(水)
学費の振替

先月号の特進館通信でもご案内しましたが、今回の振替分は、新年度教材費を合算でお振替させていただきます。詳細につきましては明細のご確認をお願いいたします。

「やっと終わった」は失敗の始まり

今年も昨年とほぼ同数の生徒が高校受験を終えて新高1生となりますが、高校受験は人生のゴールではなく、あくまで中間目標に過ぎません。3年後に控える大学受験には、「高い競争率」・「難解な問題」・「膨大な科目数」などのハードルが多々あって、それ以上に厳しいのが、名だたる「中高一貫校生」とのし烈な競争です。

たとえば、東京大学の合格者数高校別ランキングを見ると、上位20校のほとんどを中高一貫校に独占され、公立高校はわずか1割。これは、単にレベルの差ではなくカリキュラムの違いによるものです。上位の中高一貫校では、高2の2学期までに全高校内容の学習を終え、残りの1年半で入試対策演習を行います。つまり、公立の「2倍速」で学習して、後半は「予備校化する」というしくみ。大学受験に強いのもうなずけます。とりわけ国立大を目指す生徒は、高1生の段階で、センター英数は80%以上の点数を取ることができると言われています。

だから、彼らに勝利するためには「高1から受験勉強する」。しか方法はないのです。高校の合格発表で、「やっと終わった。少し休もう」とついつい呟いてしまう。これが、大学受験の「失敗の始まり」となります。合格おめでとう→「さあ、いよいよ本番だ!」と思える意識こそが、次の成功に向けての最大のポイントです。みなさん、一緒にがんばりましょう!〔北村昌弘〕

世界中が泣いたタイの感動CM。ご覧を!!



編集後記

卒業、入学、進級、就職・・・春は大きな節目の時期です。今年は我が家でも娘の卒業・入学があるので、とくにその節目を実感していますが、同じ仲間とそのまま進学ということもあり、当の本人はいまのところあまり何も感じていないようで(-_-) 淡々と卒業式の準備に取り組んでいます。生活リズムの変化など、日常的变化は必ずあるので、どこかのタイミングで何かを感じるのか感じないのか…。親としてもバタバタする時期ではありますが、子どもの様子をしっかりとみてあげたいなあと思います。